

## 「負ける」って大事

「負けるとふてくされ、かんしゃくをおこす」  
「負けるとすぐ涙を流す」  
「負けたら、もうやらない」

ゲームなどで「負けないように」「機嫌が悪くならないように」と気を使われてきた子どもは、「負ける」体験をせずに育ってきたことが多いです。

そんな子どもはけやき教室の中で、初めて「負ける」という体験をします。

けやき教室では、カードゲームでもスポーツでも常に真剣勝負で、相手が小学生でも、中学生でも、大人でもお構いなしです。同じ人がずっと勝ち続けることもあれば、何度やっても負け続けてしまう人もいます。

ここで、大事なのは「負けたとき、そのあとどうするか？」ということです。

負けて、ふてくされ、涙を流し、その場を立ち去ってしまうのか。  
それとも、悔しいけれど、もう一回対戦するのか。

「さあ、もう一回やろうよ。」との誘いに、下を向きながらも「うん」と答える子ども。その後も負けることも多いですが、奇跡的に勝利すると、大喜び！特に、小学生は飛び上がって勝利を全身で表現しています。

「負けても、楽しそうにゲームをする人」「勝ち続けていたのに、急に負けてがっかりする人」「負けたあとゲームに誘われても応じず、その輪の中に入りづらくなってしまう人」「一緒にやろうと声をかけても、反応してくれず、悲しい思いをする人」など、その場にいたみんながいろんな感情を体験する機会になっています。

「負けても、次に向かっていく」この一歩から、  
たくましくなっていく、心も強くなっていく。

## 「そういえば、こんなこと」

今年もけやき教室敷地内の桜が満開になり、お花見をしました。

お花見と言えば、「お団子」ですよね。しかし、「お団子は嫌い」と言う通所生。

では団子に代わるものはなんだろう…？  
片手で持って、食べられるものは…？

いろいろ考えた末、今年は  
「お団子&チーズ入りかまぼこ」でお花見！

